

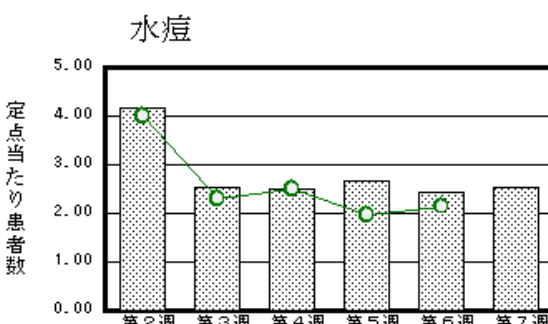
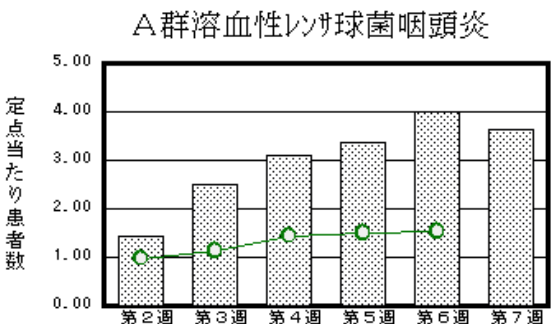
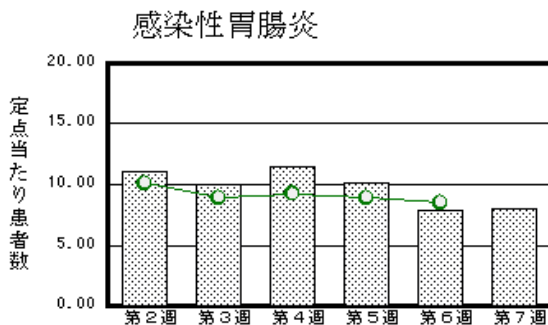
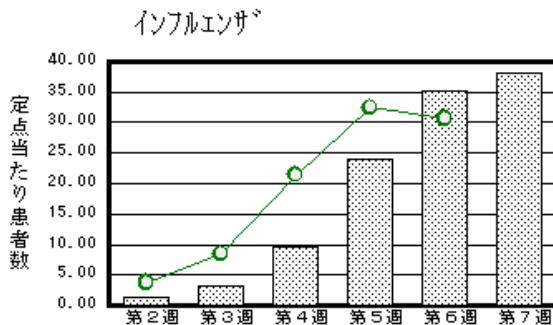
福井県感染症発生動向調査速報

<<平成16年>>

発行日：平成16年2月17日
 <週報> 第7週 (平成16年2月9日～2月15日) 発行：福井県福祉環境部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 インフルエンザ1,224名(38.3名) 感染性胃腸炎177名(8.1名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎80名(3.6名) 水痘56名(2.6名) 伝染性紅斑14名(0.6名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 インフルエンザ(1,224名) 感染性胃腸炎(177名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(80名) 水痘(56名) 伝染性紅斑(14名) 突発性発疹(12名) 手足口病(11名)
- 【インフルエンザ】報告数が増加しました。(1,123名 1,224名)。定点あたり患者報告数でみると奥越地区73.7名、丹南地区44.1名、福井地区41.6名と依然警報レベルとなっています。坂井、二州地区も定点あたり26名と注意報レベルが継続しています。大変流行していますから、引き続き注意が必要です。
- 【感染性胃腸炎】報告数が増加しました。(174名 177名)定点あたり患者報告数は福井地区12.0名、丹南地区9.8名、坂井地区7.3名、の順になっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数が減少しました(88名 80名)。奥越地区で定点あたり6.5名と県内トップとなり、続く丹南地区5.8名となっています。
- 【水痘】報告数が増加しました。(54名 56名)丹南地区で定点あたり6.8名、福井地区で2.7名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点 2004年第5週号(1月26日～2月1日)要点

発生動向総覧	<第5週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり報告数は第3週から再び増加し、第5週も増加した / その他最新動向
注目すべき感染症	<インフルエンザ> 第5週の定点あたり報告数は32.4であり、ほとんどの都道府県でインフルエンザの流行がさらに大きくなっている
病原体情報	患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス2003/04シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2003/04シーズン
速報	日本のAIDS患者・HIV感染者の状況 - エイズ動向委員会委員長コメント(要旨)
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<サルモネラ感染症> わが国におけるサルモネラの食中毒事例はここ数年間常に、腸炎ピロオと一、二を争う代表的食中毒原因菌である

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

今週は報告はありません。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成16年 第7週 平成16年2月9日(月)～平成16年2月15日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(6週)
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	457 41.55	80 26.67	104 26	9 3	221 73.67	353 44.13	1224 38.25	1123 35.09	144313 30.69
小児科 (22)	RSウイルス感染症								1 0.05	284 (5週)
	咽頭結膜熱	1 0.14	1 0.33			1 0.5	4 0.8	7 0.32	2 0.09	589 0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28 4.00	6 2.00	4 1.33		13 6.5	29 5.8	80 3.64	88 4	4650 1.53
	感染性胃腸炎	84 12.00	22 7.33	10 3.33	2 1	10 5	49 9.8	177 8.05	174 7.91	25793 8.48
	水痘	19 2.71	1 0.33		2 1		34 6.8	56 2.55	54 2.45	6550 2.15
	手足口病	1 0.14				9 4.5	1 0.2	11 0.50	8 0.36	194 0.06
	伝染性紅斑	10 1.43	2 0.67		2 1			14 0.64	17 0.77	862 0.28
	突発性発しん	5 0.71	1 0.33	1 0.33		2 1	3 0.6	12 0.55	13 0.59	1805 0.59
	百日咳								2 0.09	18 0.01
	風しん	1 0.14						1 0.05		65 0.02
	ヘルパンギーナ									69 0.02
	麻しん(成人麻しんを除く)									14 0.00
流行性耳下腺炎	5 0.71		2 0.67				7 0.32	1 0.05	1211 0.40	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									19 0.03
	流行性角結膜炎									593 0.93
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									5 0.01
	無菌性髄膜炎									2 0.00
	マイコプラズマ肺炎									87 0.18
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									3 0.01
	成人麻しん									4 0.01

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第5週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成16年第7週 平成16年2月9日(月)～平成16年2月15日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満	7	6ヶ月未満				2	3			1						6ヶ月未満								
12ヶ月未満	29	12ヶ月未満				15	4	1		7						12ヶ月未満								
1歳	79	1歳			3	19	13	5		4						1歳								
2歳	104	2歳		2	4	16	11	1								2歳								
3歳	96	3歳		1	7	16	17	4	1							3歳								
4歳	84	4歳		3	15	17	3		3						3	4歳								
5歳	70	5歳			17	11	4		3						1	5歳								
6歳	58	6歳			14	11	1		2			1			2	6歳								
7歳	61	7歳			8	16			2							7歳								
8歳	46	8歳			2	14			2							8歳								
9歳	49	9歳			5	8			1							9歳								
10～14歳	205	10～14歳			2	15									1	10～14歳								
15～19歳	87	15～19歳				4										15～19歳								
20～29歳	60	20歳以上		1	3	13										20～29歳								
30～39歳	55															30～39歳								
40～49歳	58															40～49歳								
50～59歳	14															50～59歳								
60～69歳	15															60～69歳								
70～79歳	16															70歳以上								
80歳以上	31																							
合計	1224	合計		7	80	177	56	11	14	12		1			7	合計								
前期計	1123	前期計	1	2	88	174	54	8	17	13	2				1	前期計								
当期間/前期	1.09	当期間/前期		3.5	0.91	1.02	1.04	1.38	0.82	0.92	0	***	***	***	7	当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数	101	増減数	-1	5	-8	3	2	3	-3	-1	-2	1			6	増減数								

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき